

あいのり

Monthly

2026.2.27

2月のマーケット概要

2月の米国株式市場では、月初に、AI企業アンソロピック社が新AIエージェント機能を発表したことにより、いよいよAIが既存の仕事やサービスの常識を塗り替えてくるという見方が広がり、既存ソフトウェア会社（SaaS）銘柄が軒並み売られました。

さらに、米国のオルタナティブ資産運用会社ブルーオウルキャピタルの個人向けプライベートクレジットファンド（投資家から資金を集めて非上場企業向け、特にソフトウェア会社向けの融資割合が多いとされるファンド）が解約制限を突然発表したことから、2007年のパリバショック（サブプライムローン投資ファンドが投資家からの解約を一時凍結し、その後の金融危機へ繋がる）が想起され、信用リスク懸念が広がりました。これら一連の懸念材料が全体に波及し、ナスダックを中心に米国株は軟調な展開となりました。プライベートクレジット懸念については、英国でも高レバレッジや管理不足体質が要因として不動産ローン会社が破綻するなど、世界的に波及する可能性はあります。米国・イスラエル連合が対イランへの攻撃を行い、地政学リスクが一気に高まって月末を迎えました。

なお、米経済指標は、雇用がやや減速傾向であるものの、失業率は4.3%を維持し崩れておらず、インフレについては落ち着いてきたものの、FRBが重視するコアPCE（食品・エネルギーを除く個人消費支出物価指数）は前年比3.0%と、粘性性を帯びております。今後地政学リスクの高まりによる原油価格の上昇がさらにインフレ率全体を押し上げ、利下げができなくなる可能性には注意を要します。

日本に関しましては、上旬に衆議院選挙が行われ、自民党が単独で3分の2を上回る戦後最多の議席数を獲得し、日本株は大幅に上昇、先物では一時60,000円台を付けました。それと同時に、積極財政による財政悪化も要因として上昇していた日本の長期金利も下落基調となり、為替も円高で推移したため、株高、債券高、通貨高の「日本買い」の様相を一時呈しました。

弊社ファンドは、引き続きリスクを抑えた慎重スタンスを継続しており、2月はわずかにリスクを減らし、キャッシュ比率を若干増やしました。

今月は地政学リスク、信用リスクを注視し、最終的に景気後退に繋がるかを見極めた上で、大きく調整した場合は、再度リスクポジションを積み上げることを検討いたします。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset

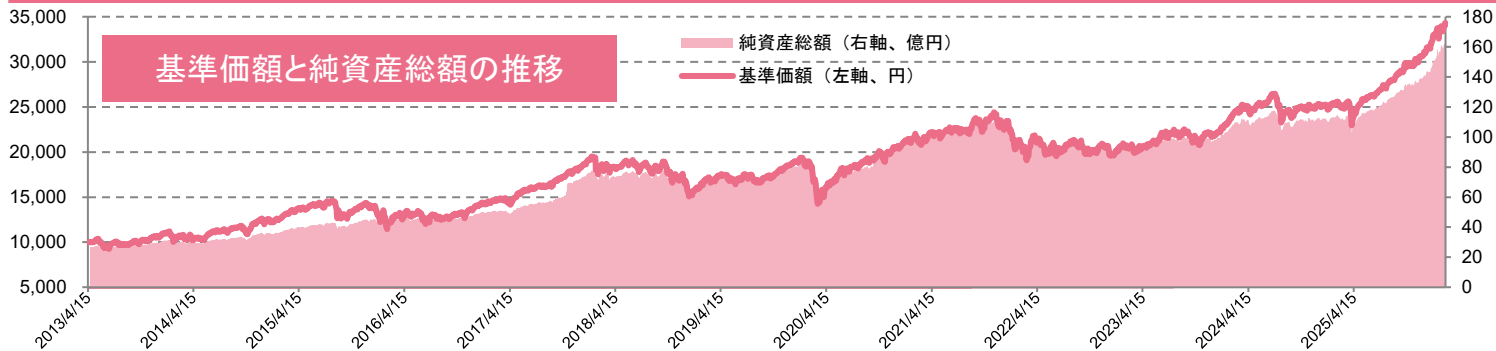
（2026年3月4日）

パリミアセットマネジメント
取締役チーフインベストメントオフィサー
宇野 隆一郎



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

コードモファンド
変幻自在ずーっとおまかせ



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
1.78%	12.38%	22.70%	9.05%	36.94%	68.34%	60.71%	179.40%	243.27%
					(複利年率) (18.96%)	(複利年率) (9.94%)	(複利年率) (10.82%)	(複利年率) (10.05%)

コードモファンド概況

基準価額	34,327円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	16,333百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	9.22%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
投資信託財産の構成比率	パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド: 99.95% 現金等: 0.05% (合計: 100.00%)		

コードモファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年1.10%(税抜1.00%) マザーファンドの組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担: 年1.75±0.5% 程度(税込)
---------------	---

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンド ※2025年9月1日設定

【2月の運用コメント】

基準価額は月間で+1.87%、年初来では+9.26%となりました。

(1年リターン: 36.94%、ボラティリティ(1年): 9.22%、シャープレシオ: 3.93) ※コードモファンド

個別ファンドの騰落率については、上昇の寄与度が大きかったのは日本株式ファンドで、バリュー株式のモーラントが騰落率+11.50%やニッポングロースも同+11.50%、シンプレクス中計が同+9.83%、SBIジェイリバイブが同+9.48%などでした。一方、下落したのはピクテ・ゴールド(為替ヘッジ付き)が騰落率▲4.77%、世界株式のコムジェスト世界株式が同▲0.90%などでした。

2月中の売買は、引き続き慎重スタンスから、金鉱株式ファンドなどわずかに売却を行いました。キャッシュ比率は前月より約3%一時的に増加し20.71%でした。

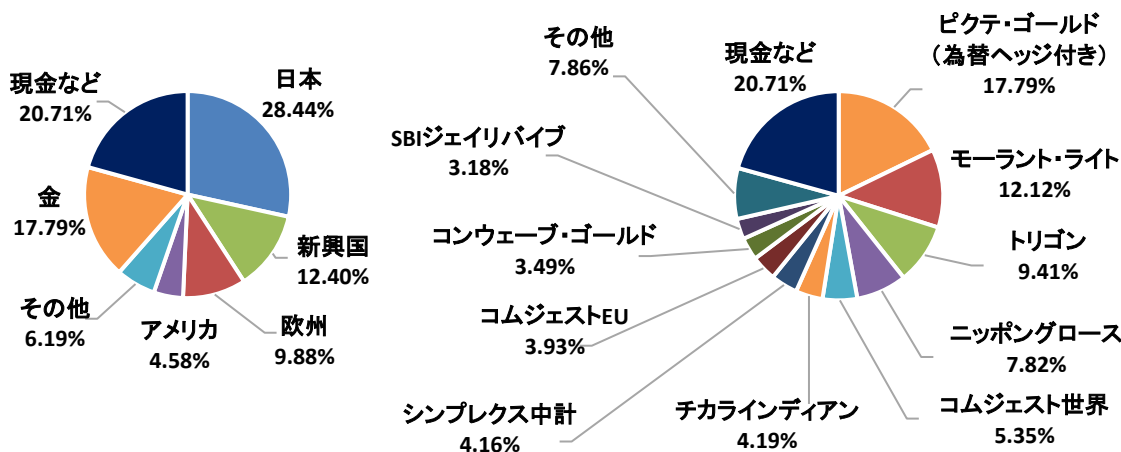
為替が円安へ、対ドルで約2円(+1.40%)、対ユーロでは約0.5円(+0.25%)円安へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で0.15%引き上げたこととなります。

現状の外貨資産リスク(30%)に対する為替ヘッジ率は、54%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは14%です。

パリミキ・ファミリーオフィス・マザーファンドの概況

純資産総額	16,554百万円	組入ファンド数	全17本
-------	-----------	---------	------

資産構成比率(左: 国別、右: ファンド別)



組み入れファンドTOP5
基準価額のの前月比

ピクテ・ゴールド(為替ヘッジ付き)	-4.77%
モーラント・ライト	11.50%
トリゴン	0.98%
ニッポングロース	11.50%
コムジェスト世界	-0.90%

浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【2月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.89%上昇しました。

(1年リターン：26.52%、ボラティリティ（1年）：11.38%、シャープレシオ：2.27)

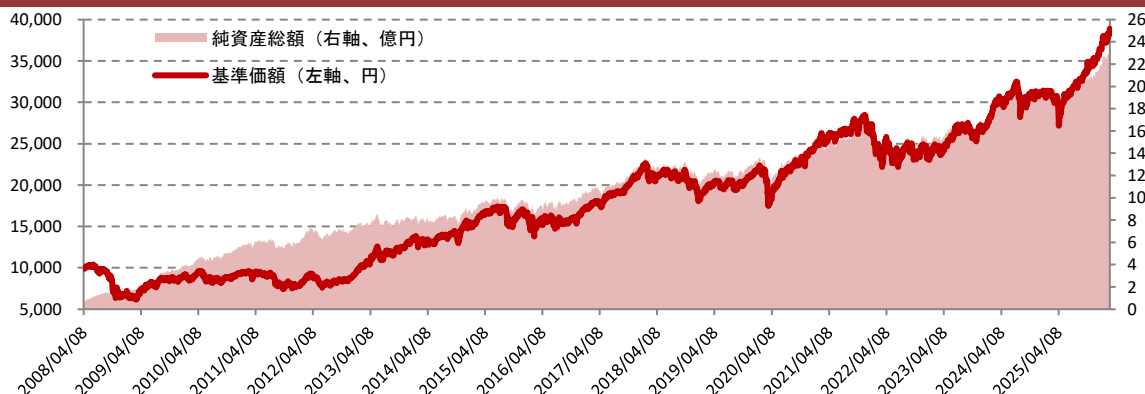
個別ファンドの騰落率について、上昇寄与が高かったのは日本株のシンプレクス中計が騰落率で+9.83%、さらにニッポングロースが同+11.50%、SBIジェイリバイブが同+9.48%などでした。下落した銘柄はコムジェスト世界株式で騰落率▲0.90%などでした。

2月の売買は、引き続き慎重スタンスから、金鉱株式ファンドなどをわずかに売却しました。キャッシュ比率は前月より約4%増加し16.28%でした。

為替が円高へ、対ドルで約2円（+1.40%）、対ユーロでは約0.5円（+0.25%）円安へ推移したことにより、ポートフォリオのパフォーマンスをヘッジ後で約0.15%引き下げたこととなります。

現状の外貨資産リスク（47%）に対する為替ヘッジ率は58%で、ヘッジ後の外貨リスクは19%です。

基準価額と純資産総額の推移



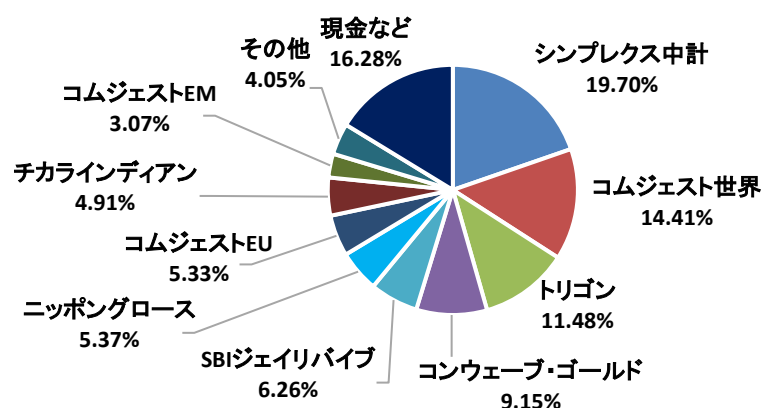
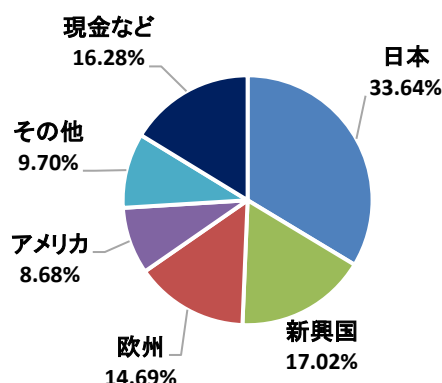
組み入れファンドTOP5 基準価額の 前月比

シンプレクス中計	9.83%
コムジェスト世界	-0.90%
トリゴン	0.98%
コンウェーブ・ゴールド	1.98%
SBIジェイリバイブ	9.48%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	38,893円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	2,337百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	11.38%	決算日	毎年3月3日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全12本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
2.89%	9.95%	18.77%	6.52%	26.52%	61.48%	52.66%	159.70%	288.93%
					(複利年率) (17.32%)	(複利年率) (8.82%)	(複利年率) (10.01%)	(複利年率) (7.88%)

浪花おふくろファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年0.99%(税抜0.90%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年1.65±0.5%程度(税込)

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

AI時代の生き方、育て方

2月22日、NPO法人ニューロクリアティブ研究会主催のセミナーが開催されました。脳科学者・茂木健一郎さんとフリースクール講師の田森佳秀さんをお招きし、私も含め三人で「AI時代の生き方、育て方」をテーマに語り合いました。お二人はともに、AIの理論的基礎を築きノーベル賞候補にも名が挙がった甘利俊一先生の愛弟子です。AIの発展というと欧米主導のイメージがありますが、日本もその中心的役割を担ってきました。茂木さんは2017年に英語で出版した「IKIGAI」が世界58カ国で広まり、特にドイツで二年連続ベストセラーを記録した国際的な作家でもあります。一方の田森さんは、子どもたちの自発性を大切にしながらユニークな授業でフリースクールの現場に立ち続けています。

AIの進化がもたらす変化

AIの進化は、今や指数関数的な加速の時代に入っています。AIはインターネット上の膨大な情報を学習しているだけでなく、毎日世界中の何千万、何億もの人々と高度な意見交換を積み重ねています。人間が一生をかけて経験する知的対話の量を、AIはわずか数秒で、言語の壁を超えて達成してしまいます。さらに近未来には「フィジカルAI」が登場し、身体を持ったAIが現実世界に飛び出してきました。アトムやドラえもんの世界が現実になる日は、もうそこまで来ています。



AIにできないことは？

こうした時代の中で茂木さんが強調したのは、「決断する力」と「自発性」の重要性でした。AIが様々なシナリオをシミュレートして戦略の可動域を広げる一方で、最終的に決断するのは人間です。自ら表現したい・やりたいという内なる動機は、人間固有のものであり続けます。

私からは「感じる力」についての話をしました。私は、人差し指の指先の神経を切る怪我をしたため、指先の感覚がありません。そのほんのわずかな面積がいかに膨大な情報を感知していたかを痛感しています。人間の身体は全身にわたる繊細なセンサーを備えており、その感性にロボット技術が追いつくのは容易ではありません。

この力を育むには、自然の中でのびのびと過ごすことが大切です。自然は情報量が多すぎて脳だけでは判断できず、体全体で感じるしかない。その点で日本は恵まれています。明確な四季、暖流と寒流がぶつかる豊かな海そして山、多様な動植物の共存——移ろいゆく繊細な表情を持つ日本の自然の中で育つことは、五感を通じて世界の複雑さと調和を学ぶことにほかなりません。

生きる意味を問う力

もう一つ欠かせないのが「意味を問う力」です。哲学、古典文学、宗教書といった書物は、直接的な利益には役立たないかもしれませんが、人類が長い歴史の中で「どう生きるか」を問い続けてきた記録です。幸福とは何か、苦しみをどう受け止めるか、なぜ他者と共に生きるのか——そうした問いに触れることで、人は内面に揺るぎない軸を持つようになります。それは外から与えられる目的ではなく、内側から湧き上がるもの、まさに茂木さんが世界に発信してきた「IKIGAI」の発見そのものです。

AIがどれほど賢くならうとも、感じ、問い、決断する人間であることの価値は、これからの時代にこそ光を放つはずで



(株)バリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄



チームあいのり

伊豆大島の思い出 限界突破！三原山のトレッキング

私は定期的に出会っている小学校からの友人がいます。先日、その友人と会い3~4年前と一緒に旅行したことを思い出したので、その時のことをお話しさせてください。

「島っていいよね」という何気ないひとことから夏に伊豆大島に行くことが決まりました。行きは深夜に竹芝を出発し、早朝に伊豆大島に着くフェリーの便をとりました。ホテルの一室のような部屋や雑魚寝できるスペース、リクライニングシートなど、いろいろな種類がありましたが、値段を抑えつつ寝たかったので、二段ベッドを予約しました。

フェリーでは東京湾の夜景を楽しんだ後、わくわくした気持ちで横になりましたが、あいにく船の揺れで酔ってしまったため、一晩中酔いと闘いながら一睡もできずに到着となりました。

伊豆大島で一番思い出に残っているのは、三原山のトレッキングです。あまり下調べせずに「初心者でも簡単！」という口コミを信じ、散歩に行く感覚で山頂を目指しましたが、想像以上でした…。見晴らしがよすぎて、ゴールがとても遠く感じましたし、どれだけ歩いても進んでいないような不思議な感覚がありました。

3時間ほどで行って帰ってくる予定だったので、日傘とペットボトル1本で挑みましたが、行きだけで約2時間半。途中、下山する数人とすれ違った以外その他に人は全くおらず、飲み水の残量を気にしながらの炎天下トレッキングは、命の危機を感じるほどでした。「暑い」と「やばい」しか言えず、笑ってしまうくらい大変な往復5時間でしたが、今では私たちの間で面白エピソードとなっています。



トレッキングの他にも、山奥にある一日数組限定の予約制のカレー屋さんに行ったり、べっこう寿司や海苔のアイスクリームを食べたりと、美味しいものも堪能できました。素敵な書斎のある、漫画『ジョジョの奇妙な冒険』ファンにはたまらないゲストハウス「露伴」にも泊まることができ、充実した夏休みになりました。

友人とも、またどこかに行きたいねと話をしたので、行きたいところをリストアップするのがとても楽しみです。

執筆者：中川 亜美



毎週1回程度、定期的にブログを更新しています。
ホームページの「あいのりblog」からぜひご覧ください。

QRコードを読み取ると
各ブログに移動します↓

Webメディア「Shikisai」



- ① パリミキ流、お金との向き合い方 | スイスファミリーオフィスから学んだこと
- ② 数字の裏側で、何を判断しているのか——ファンドマネージャーの運用実務から



パリミキホールディングス代表取締役会長多根からは金融との距離感やファミリーオフィスという考えについて、当社取締役チーフインベストメントオフィサー宇野からは、当社の掲げる「守りながら増やす」運用の実態についてお話しています。

ファミリーオフィスシリーズ 全4回

第1回 不確実な時代に生きる、富裕層の「ファミリーオフィスの」考え方 世界の富裕一族に学ぶファミリーオフィスの知恵



インフレや金利変動、地政学リスク、テクノロジーの急進化など、先行きが読めないこの時代に、いかにして資産を守り、次世代へつなぐか。その答えを、何世代にもわたって富を守り続けてきた「ファミリーオフィス」の歴史から学ぶシリーズです。ファミリーオフィスの本質、個人投資家に必要な視点とは？



第2回 ロックフェラー家が築いた「資産を目的で動かす」発想

第3回 ロスチャイルド家に見る「情報と信頼のネットワーク戦略」

第4回 現代の超富裕層が実践する「次世代型ファミリーオフィス」

富とは何かシリーズ 全5回

第1回 ——タルムードに学ぶ資産形成の原点と、日本的価値観との融合



タルムードとは、ユダヤ教の知恵の集成したもので、旧約聖書の解説書とは違い、「どう生きるか」や「どう富と向き合うか」などを、何千年にもわたって議論し続けてきた実践の書です。

「真面目に働いていれば、いずれ何とかなる」という、勤勉さと安定した雇用を前提に、努力が報われる仕組みが幕を下ろしつつある今、改めてタルムードに注目し、私たち日本人であるからこそできる資産形成とは何かを説きます。

第2回 「分散」と「貯蓄」
——日本人の安全志向 × タルムードのリスク分散

第4回 「お金は汚い？」という無意識のブレーキ
——日本人の美德を資産形成にも活かす

第3回 「労働依存」から「仕組み作り」へ
——日本人の勤勉さを、未来を守る力に変える

第5回 「富の最終目的」
——次世代と社会へのバトン、
そしてファミリーオフィスという思想

ファンド決算のお知らせ

コドモファンドの第13期決算を2026年2月25日、浪花おふくろファンドの第18期決算を3月3日に行いました。コドモファンド、浪花おふくろファンドともに収益分配金につきましては、収益分配方針に基づき分配は致しませんでした。ファンドの運用状況等をご報告する「交付運用報告書」を対象のお客様に作成次第5月下旬頃に、発送または電子交付いたします。

ご登録内容の変更はございませんか？

もうすぐ新年度がスタートします。お引越しなど新生活の準備で何かと忙しい方もいらっしゃるかと存じます。ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、変更がございましたら、「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページ・マイページまたはお電話にてご請求の上、変更手続きをお願いいたします。「居住地の確認を厳密に行う」よう法律で定められております。**所定の手続きによりご変更いただけない場合お取引を停止させていただく場合があります。**またメールアドレスのご変更は、弊社ホームページ・マイページ上またはお電話でもお手続きが可能です。

海外転勤等で日本非居住者となるお客様

海外転勤等で日本非居住者となる場合、**ご出国前までに所定の手続きが必要となります**ので、お早めにご連絡いただきますようお願いいたします。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。**

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**2026年4月6日（月）**です。
2026年4月分金額変更・中止・再開締切日…
3月24日（火）
2026年5月分新規・口座変更締切日…
4月1日（水）
※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

株式会社パリミキアセットマネジメント
お客様サポートチーム
（受付時間：平日9:00～17:00）
お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968
E-mail: support@pmam.co.jp



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT